プロポーザル方式による特定結果書

1　業務名　令和6年度宇奈月ダムAIによるダム流入量予測検討業務
2　所属事務所　黒部河川事務所
3　方式（〇〇型ﾌﾟﾛﾎﾟｰｻﾞﾙ方式）　簡易公募型プロポーザル方式
4　技術提案書の提出要請日
　　または選定通知日　令和7年3月19日
5　公示日　令和7年2月25日
6　特定通知日　令和7年4月23日

技術提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
【A社】（株）建設技術研究所	×	貴社については、評価の着目点のうち「実施方針について」の「その他」および「評価テーマについて」の「的確性」において他社が優位であると判断したため、非特定としたものである。
【B社】（株）ニュージェック	〇	
【C社】（株）東京建設コンサルタント	×	貴社については、評価の着目点のうち「実施方針について」の「実施手順」において他社が優位であると判断したため、非特定としたものである。

（備考）１「特定されなかった理由」の欄には、非特定通知書と同様の内容を記載する。
２「特定の有無」の欄には、特定された場合には「〇」と記載し、選定されなかった場合には「×」と記載すること。
３　標準プロポーザルの場合は、「5　公示日」は技術提案書の提出要請日を記載する